



課題名	人物群像画	
この授業で 付けたい力	美術Iで学んだ色彩構成の知識を生かし、人体の抽象化や再構成を行いながら創造活動を展開させる。また、人体の捉え方をクロッキーによって学び、絵の具の扱いに工夫しながら学校生活での多くの人との関わりについて自らの内面を理解する。	
講座数	美術IIの講座数 4	18時間
1講座の人数	26名	
	内容	
クロッキー	<p>☆10分で立ちポーズ・15分で座りポーズを交代で実施。10体以上繰り返すと慣れてくる。</p> <p>毎回提出させて取り組みを評価しておくこと。</p> <p>モデル台に立たせて後ろを向かせたり、本やボールを持たせたりする。</p> <p>☆トレーシングペーパーに転写した人体を切り離す。</p>	
構成		<p>☆下地を好きな混色で塗る。2～3回前の色を残しながら重ね塗りをすると空間表現への認識が高まるが、色相が遠いとちぐはぐしてしまうので「常に色相環を掲示」しておく。</p> <p>☆人体を6体以上配置し、転写する。</p> <p>☆着色する。</p>
観点別評価による まとめ	<p>美術への関心・意欲・態度 主体的に主題を生成して抽象化や再構成を行いながら構想を練り、表現を工夫しようとしている。</p> <p>発想や構想の能力 身近な友人の形を深く見つめて主題を生成し、創造的な表現の構想を練っている</p> <p>創造的な技能 アクリル絵の具の濃さや色の重ね方を工夫して、創造的にあらかわしている。</p> <p>鑑賞の能力 画家や友人の作品における表現の工夫や美しさを、多様な視点から分析し理解している。</p>	